

事業番号	事務事業名	民間バス運行対策事業費	所管課名	まちづくり課	令和 3 年度課長名	柳井 和彦
00267	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日笠 雄策
	施策名	49 公共的交通機関の充実	根拠法令等	過疎地域自立促進法、道路運送法(有償旅客運送)、鏡野町補助金等交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	路線バス維持のため事業者(中鉄北部バス)へ国と県との協調補助を行う。路線は上齋原、奥津~津山間の幹線系統1路線、一日17便であったが、令和元年10月から一日8便に減便し、減便分はフィーダー系統(支線枝線系)路線である「上齋原-マルナカ線」に振替えている。	開始年は不詳。過疎地域の足の確保のため、民間事業者が撤退するのを抑止するため補助金を交付して路線の維持を図っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 民間事業者(バス会社)	ア 事業者数	社	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
イ 町民	イ 人口	人	見込 実績	12,754 12,754	12,143 12,652	11,993 12,497	11,843	11,627
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 通院、買物等にバスを利用してもらう	ア バス利用者	人	目標 実績 達成率	30,000 26,003 86.7%	25,800 16,078 62.3%	25,800 17,210 66.7%	25,000	25,000 68.8%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 補助金支払い事務	ア 補助金を支払った回数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
イ 起債申請事務	イ 起債計画書作成事務	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2 100.0%
ウ 利用者取りまとめ事務	ウ 利用者取りまとめ回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 06		大事業 中事業		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		08 01		民間バス運行対策事業費		
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債	15,000	10,000	9,000	12,000	12,000	-1,000	町債	15,000	10,000	9,000	12,000	12,000	-1,000
その他特財							その他特財						
一般財源	6,429	4,319	375	144	144	-3,944	一般財源	6,429	921	98	144	144	-823
合計	21,429	14,319	9,375	12,144	12,144	-4,944	合計(A)	21,429	10,921	9,098	12,144	12,144	-1,823

財源名称	過疎債	従事正職員人数	1	1	1	1	1			
		延べ業務事務時間	120	120	120	120	120			
		人件費計(千円)(B)	420	401	402	411	411			
	最終予算額	9,375 千円	予算執行率	97.0%	トータルコスト(A+B)	21,849	11,322	9,500	12,555	12,555

主な支出事業内容(予算)	負担金補助及び交付金(補助金)	9,098 千円	主な支出事業内容(決算)	負担金補助及び交付金(補助金)	9,098 千円

事業番号	00267	事務事業名	民間バス運行対策事業費	所管課名	まちづくり課
------	-------	-------	-------------	------	--------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
コロナ禍でバス利用者が激減している
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
減便については、上齋原マルナカ線を代替え路便として運行している
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
ない

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 朝夕の通勤通学での利用が主たる目的
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 関与しないと撤退の可能性がある、独自運行には更なる費用負担が生じる
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> ない
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 利用者増加のため、通学助成制度の拡充を図っている
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 高校生が自力で通学できないため、町北部地域の若者流出につながり、過疎化が急激に進行する
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 中鉄北部バスの営業努力による
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 中鉄北部バスの営業努力による
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 担当者 1人
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 免許・自動車を持たない高校生が主たる対象となる

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	利用者が激減しており、原因としてコロナ禍もあるが、ターゲットである高校生の人口減少も上げられる。利用促進に向け、通学助成やPRを続けていきたい。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 利用促進のため、PRを続けていく																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
人口増加、維持																									